

南 浦



ホームページはこちらのアドレスです

<http://www.mitaka-schools.jp/minamiura-es/>

学校の自然「ツツジ&ハナミズキ」



学校のあちこちに植えられているツツジが咲き始めました。体育館への渡り廊下沿いには、ハナミズキの花が咲き、いい香りをさせていました。

5月の生活目標

廊下は右側を静かに歩こう
そうじをしっかりとしよう
落ち着いた生活をして、けがを予防しよう

これからの学校

校長 門野 吉保



交通安全教室（1年生）

高度な対話能力を備えた人工知能「ChatGPT」は、たった2か月で世界の利用者数1億人を超えたと言われます。Chat GPTを使えば資料や報告書の作成を極めて短時間で、効率よく作成することができ、つい先日は、農林水産省がホームページの改定作業に Chat GPT の活用を検討していることが大きな話題となりました。毎年、夏になると読書感想文に頭を悩ませていた子どもたちにとっては夢のような AI ではありますが、Chat GPT の劇的な進化のスピードにより社会が混乱することを警戒し、早くも規制論が台頭し始めました。

携帯電話の登場に大きな衝撃を受け、スマートフォンやタブレット端末に近未来の到来を感じていた私にとっては、人間をしのぐほどの高度な言語能力を獲得し、幅広い知的作業を担う AI の出現は、1984 年の「ターミネーター」を思い出し遂に来るべき時が来たか、というのが率直な感想です。

一方で、慶応大学の入学式で伊藤公平塾長は「これから科学技術の発展がさらに加速し、ビジネスの在り方も目まぐるしく進化する。**学び続ける能力、常に自分と周りを高めていく能力**が必要である。」と新入生に呼びかけました。

少子化・人口減少、都市と地域の格差など社会課題や国際状況が不安定な中でも、活力ある日本社会の実現のために不可欠なのは人であり、人を育てる営みがこれまで以上に重要になっています。

小学校の目的は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる**普通教育のうち基礎的なもの**を施すことであり、例えば、読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと、生活に必要な数量的な関係を正しく理解し、処理する基礎的な能力を養うことなどを目標としています。本校でも、こうした資質・能力を育成するために、体験的に学んだり ICT 機器を活用したりしながら個別最適な学びや、協働的な学びの実現に取り組んでいます。人は黙っていたとしても、頭の中では主に言語を使って思考をし、言語を使って意思や感情を表現しているので、学校ではすべての教科・領域の基盤となる「ことば」については特に大切にしたいと考えています。そのためには、日常の言葉使いや掲示物などの言語環境を整えることはもちろんですが、読書や音読などを通して、語彙を豊かにするとともに、美しいと感じることばや心地よいリズムを感じることばと触れる取り組みはとても有効です。「おはようございます」「ありがとう」子どもたちの身近に優しさや美しい言葉が溢れる、そんな学校づくりを進めてまいります。

5月の学校行事

1日(月)	2年遠足 6年全国学力調査質問紙	17日(水)	2年遠足予備日
2日(火)	5時間授業 2年消防写真会	18日(木)	開校記念日
	引き渡し訓練(5校時)		交通安全教室(3年・自転車)
9日(火)	4~6年市学力テスト 1年視力検査	19日(金)	3年遠足
	尿検査2次	22日(月)	1年遠足 2年内科検診
10日(水)	4時間授業	23日(火)	5年遠足予備日
11日(木)	5年遠足 1~3年耳鼻科検診	24日(水)	4時間授業
12日(金)	委員会活動	25日(木)	スポーツテスト
15日(月)	1年心臓検診 6年内科検診	26日(金)	3年遠足予備日 クラブ活動
	6年都学力調査	29日(月)	1年遠足予備日
16日(火)	眼科検診(全) 1年5時間授業		2~6年5時間授業
		30日(火)	4年遠足 5年都学力調査
			6年自然教室保護者会
		31日(水)	4時間授業

今月の話題

『ありがとう』の反対ってな～んだ？

生活指導主任 高橋 秀政

『ありがとう』の反対ってな～んだ？

って子どもたちに聞くと、「え？ごめんなさい？」「怒ること？」「悔しい？」など様々にできます。

「なるほど、それも一理あるかもしれないけれど、全部違います。『ありがとう』の反対は、『当たり前』。」

「ありがとう」の反対は「当たり前」。「当たり前」の反対は、「ありがとう」。

日々、目の前に笑顔の子どもたちがいて、親がいて、教職員がいる。これって、とてもありがたいことです。

今年度も安全・安心な学校生活を支えることを第一の目的にして、生活指導・安全指導を行っていきます。

4月6日～14日は「春の交通安全週間」でした。安全に登下校できているか、交通安全について、ご家庭でも今一度お子さんと向き合っていたいただきたいと思います。そして、明日は引き渡し訓練です。南海トラフ沖のM8～9の大規模地震が今後30年以内に起こる確率が70%とされています（気象庁令5年4月7日）。子どもたちにはそうなったら引き渡し以外はずまいと伝えていきます。我々大人が心も環境面もしっかり準備して、有事に対応できるようにしましょう。

子どもたちがいることは当たり前。でも、とてもありがたいこと。今年度もこのことを心のド真ん中において、ご家庭や地域と学校がタッグを組んで、子どもたちを育成していきましょう。

コミュニティ・スクールを基盤とした 小・中一貫教育の充実

小中一貫の視点での外国語教育の重要性

外国語担当 宮脇 勇氣

今年度は外国語教室が新たに配置され、引き続き第一中学校の英語教員による乗り入れの授業が始まります。一中の英語教員が、毎週1時間ずつ6年生の各クラスの指導に入り、小学校の外国語専科教員と一緒に授業を行います。中学校の教員が授業に加わることで、中学校で実際に行っている会話の言い回しを取り入れるなど、中学校に向けて、段階的に学習できるようにしています。

コロナが和らぎ、マスクを外す場面も増えてきました。これまで通り感染症対策に気を配りながら、できる限り多くのコミュニケーションの機会を設けられるよう工夫していきます。活動では、タブレット端末を大いに活用したものを考えていきます。

6年生は、どんな先生が来るのか、どんなことを中学校で学習するのかなど、興味津々であり、中学校教員から英語で説明してもらいながら、中学校生活や部活について楽しんで聞いています。義務教育9年間を見据えながら小学校と中学校で連携し、より良い学びを実現するための指導をしていきます。

職員の窓

「ない」「ない」はからだと心のピンチ！？

養護教諭 白井 真理

「やるきがでない」「何をしても楽しくない」「ごはんがおいしくない」「ウンチが出ない」・・・

これらの症状はからだや心のSOSサインかもしれません。入学や進級の機会に「がんばるぞ！」と思っていたけれど・・・不安や緊張のせいで、からだや心が疲れてしまっているのかもしれません。

まずは、のんびりと過ごして、からだと心を休ませるようにしてください。「生活リズムを整える」「体を動かす」「好きなことをする」「信頼できる人と話をする」自分に合った方法で、からだも心も元気にできるといいですね。困っていることがあれば、どうぞ保健室にいらしてください。心も体も癒せる場としていきたいと思っています。

